National

制御部一体型ロビーインターホン
制御部一体型カメラ付ロビーインターホン（モ

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書、施工説明書と設定マニュアルなどをお渡しください。
●保証書に必ず必要事項を記入してください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品

●ヒューズ（1A）………………2本
●取付ネジ（M5×40）…………6本
●取扱説明書……………………1冊
●保証書…………………………1枚
●お客様ご相談窓口一覧表……1枚
●設定マニュアル………………1冊
●施工説明書（本紙）…………1枚
●施工後の点検一覧表…………1枚

安全上のご注意

⚠警告

●必ず電源（AC100V）を切った状態で施工してください。
活線工事は感電や故障の原因となります。
●水や雨のかかる場所（屋外など）および湿気の多い場所（浴室など）には設置しないでください。感電の原因となります。
●小勢力端子にAC100V用電源線を接続しないでください。発火・発煙の原因となります。
●AC100V用電源線は確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
●ヒューズ交換は電源（AC100V）を切った状態で行ってください。
電源を切らないと、感電の原因となります。

施工上のご注意

●埋込ボックスのアースは安全のため、D種（第三種）接地工事を行ってください。（接地抵抗100Ω以下）
●直射日光や照明器具による逆光状態にカメラ付ロビーインターホンを向けないように取り付けてください。（顔が黒く映ります。）※「取付方向および位置」を確認してください。
●50Hz地区では、カメラ付ロビーインターホン（撮像範囲）に直接蛍光灯の光が入ると、映像にチラツキが出ることがあります。蛍光灯の光を遮るか、インバータ蛍光灯を使用してください。
●防雨構造になっていますが、凍結のおそれのある屋側には取り付けないでください。
●AM放送の送信所近く（強電界地域）では、電波の影響を受け通話中に音声が混入することがあります。ロビーインターホンの通話端子にラインフィルタ（LFT）（別売）を取り付けてください。
●雨が直接かかる場所に設置される場合は、埋込ボックス内に水がたまらないように埋込ボックス下面に水抜用配管などを設置してください。
●施工後、壁洗いなどにより水・塩素系洗剤がかからないように注意してください。

使用電線についてのご注意

●通話品質を高めるために信号線、通話線は指定の電線（FCPEV φ0.9・ツイストペア線）をそれぞれツイストペア配線で使用してください。
詳しい使用電線については下記の「FCPEV電線適用一覧表」を参照してください。
●中継用端子台を使用する場合は、信号線と通話線との間に必ず1端子あけて結線してください。
●信号線・通話線に4pr以上の電線、AE線は使用できません。
●通話線と電力線は30cm以上離してください。
●セキュリティホームテレホンなどの電話線と信号線・通話線は別配管としてください。

■FCPEV電線適用一覧表

φ1.2のツイストペア線も使用できますが、曲げにくいため工事がしにくくなります。

メーカー名	シールド有無	記号	心数	種類
日本電線	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV-NC	2pr / 3pr	ツイストペア線
	銅編組シールド	FCPEV-NC-SB	2pr	ツイストペア線
	銅テープ	FCPEV-NC-S	3pr	ツイストペア線
昭和電線	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV-AN	2pr / 3pr	ツイストペア線
古河電工	シールド無	CPEV	2pr / 3pr	ツイストペア線
	銅テープ	CPEV-SC	2pr / 3pr	ツイストペア線
三菱電線工業	シールド無	FCPEV-NS	2pr / 3pr	ツイストペア線
	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV	2pr / 3pr	ツイストペア線
	銅テープ	FCPEV-CU	2pr / 3pr	ツイストペア線
住友電工	シールド無	S-CPEVR	2pr / 3pr	ツイストペア線
	アルミラミネートしゃへい付	S-CPEVR（しゃへい付）	2pr / 3pr	ツイストペア線

メーカー名	シールド有無	記号	心数	種類
日立電線	アルミラミネートしゃへい付	F-CPEV	2pr / 3pr	ツイストペア線
タツタ電線	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV-SLA	2pr / 3pr	ツイストペア線
矢崎総業	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV	2pr / 3pr	ツイストペア線
伸興電線	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV	2pr / 3pr	ツイストペア線
	銅テープ	FCPEV-S	2pr / 3pr	ツイストペア線
富士電線	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV	2pr / 3pr	ツイストペア線
フジクラ	アルミラミネートしゃへい付	FCPEV	2pr / 3pr	ツイストペア線

平成11年8月現在

設定スイッチ部について

短絡灯
●信号線（SG, SG）が短絡しているときに赤色点灯します。

伝送表示灯（受信用）
●信号を受信しているときに赤色点滅します。

設定モードスイッチ
●機能設定（テンキー設定）を開始／終了するときに使用します。
（詳しくは付属の設定マニュアルを参照してください。）

伝送表示灯（送信用）
●信号を送信しているときに赤色点滅します。

機器登録スイッチ
●接続機器の接続台数、本体の機能設定（テンキー設定）内容を変更したときに使用します。
（詳しくは付属の設定マニュアルを参照してください。）

本体パネル裏面図

ロータリースイッチ・スライドスイッチ
●通話するときの耳ざわりな音を低減するときに使用します。

音量調整ボリューム
●通話音量を調整するときに使用します。
右に回すと大きくなります。（出荷時：最小音量）
㊟ 設置環境により音量を上げすぎると、ハウリング（ピー音）が発生することがあります。

インターホンタイプ設定スイッチ
●接続するインターホンのタイプを設定します。（出荷時：「新」側）

インターホン品番	設定スイッチ
SHN	旧側
SHN以外（SHNT・SHNBなど）	新側

㊟ 電源スイッチを入れる前に設定してください。
電源を入れた状態での設定は無効です。
（電源スイッチは制御部一体型ロビーインターホンでは取付金具（「結線方法」参照）、制御部一体型カメラ付ロビーインターホンでは映像制御盤にあります。）

ご注意

1. 施工後、機能設定の変更または接続機器の接続や台数を変更した場合は必ず機器登録スイッチを押してください。
2. 住戸数、配線方法などの違いによって、通話の際に耳ざわりな音が聞こえる場合は下記の方法で調整してください。
●制御部一体型ロビーインターホンと住戸とで通話を行いながらロータリースイッチを徐々に回して一番通話しやすい状態にしてください。
●上記調整でよくならない場合、スライドスイッチを左右反対側に倒してから、再度、上記と同様に調整を行ってください。

生産終了品
この商品は生産終了につき
製造することができません

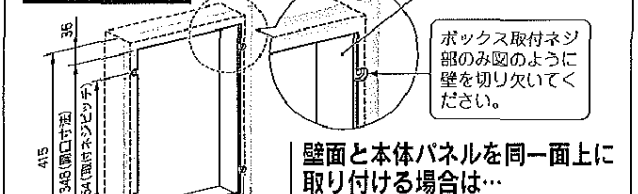
取付方向および位置

(カメラ付ロビーインターホンの場合のみ)

取付方法

●安全のため、埋込ボックスはD種(第三種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)
●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●本体の下側に本体固定ネジがありますので、コーキングしないでください。

1. 埋込ボックス(別売)下面のノックアウトを開ける。
2. 埋込ボックスを取り付ける。(「壁面穴あけ加工寸法」を参照してください。)
3. 取付金具を端子台が下になるように取付ネジ(M5)(付属)で取り付ける。
   ※このとき左右の傾きがないように調整してください。
4. 取付金具端子台の下側より電線を通し結線する。
   (水滴による端子間の短絡防止のため。)
5. 本体パネル裏面のコネクタを取付金具端子台のコネクタ受け(4カ所)に接続する。 図1
6. 機能設定する。(設定マニュアルを参照してください。)
7. 本体パネルを垂直に持ち、取付金具上部に引っ掛ける。
8. 本体パネル下面の本体固定ネジ(2カ所)をドライバーで締め付ける。 図2

(注)
●壁面穴あけ加工はボックス内寸法にて行い、ユニット取付ネジ部を切り欠き加工してください。
●加工寸法部(415×310)の範囲は壁面の凸凹をなくしてください。凸凹が大きい場合は本体パネルが固定できません。

壁面と本体パネルを同一面上に取り付ける場合は…

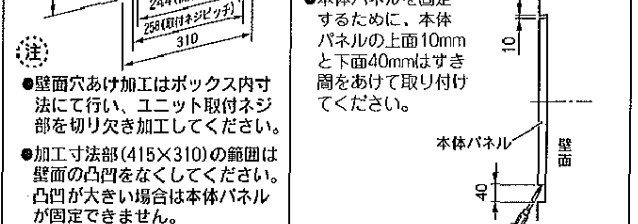
●本体パネルを固定するために、本体パネルの上面10mmと下面40mmはすき間をあけて取り付けてください。

■逆マスターキーの取付方法

本体パネル裏面図

※詳しくは逆マスターキーの取付説明書を参照してください。

■逆マスターキーを使用しない場合

●ロビーインターホン逆マスターキースペース用ブランクカバー(ステンレス)(SHN0933107K)(別売)を取り付けてください。(下図参照)

■美和ロック製KS-110, KS-111, KS-112取付方法

(注) KS-110, KS-111, KS-112には同一型番で「取付板厚:0.5～5mm用」と「取付板厚:5～10mm用」があります。必ず「取付板厚:5～10mm用」を使用してください。

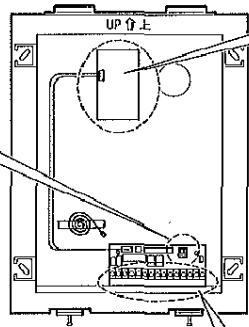
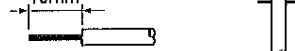
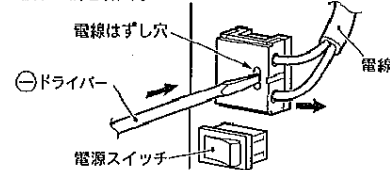
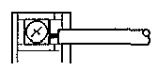
1. 逆マスターキーのリード線を添付の逆マスターキー接続用リード線(2P)に接続する。(上図の 図3 参照)
2. 逆マスターキーの化粧リングをはずし、取付板厚に応じ調整ナットを回してリング、回り板をゆるめる。
3. 本体パネル内側よりキースイッチ本体を切込穴に挿入し、外側より化粧リングをねじ込み、仮止めする。
4. 内側より調整ナットを締め付け、固定する。
5. 逆マスターキー接続用リード線(2P)のコネクタを端子台のコネクタ受けに接続する。

■ゴール製KS-3R取付方法

1. 逆マスターキーのリード線を添付の逆マスターキー接続用リード線(2P)に接続する。(上図の 図3 参照)
2. パネル裏面の成型品をニッパなどで8カ所切断する。(左図参照)
3. 逆マスターキーの化粧リングをはずして、ネジ元いっぱいまでナットを回してリング、回り板をゆるめる。
4. 本体パネル外側より化粧リングをねじ込み、化粧リングの突起をパネルの下の切込穴に挿入、パネルの上の切込穴に回り板の突起部を挿入し、パネル面に当てたまま取付ナットをねじ込み固定する。
5. 逆マスターキー接続用リード線(2P)のコネクタを端子台のコネクタ受けに接続する。

配線方法

●接続機器についてはその商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊘端子はネジ端子を示します。

●制御部一体型ロビーインターホン以外に増設ロビーインターホンを2台以上接続される場合(最大3台まで接続可)は、2台目と3台目の増設ロビーインターホンには専用の別置電源(別売・Uオーダー品)が必要です。

■配線可能距離

配線区間	最遠長
制御部一体型ロビーインターホン〜住宅情報盤	300m以内
制御部一体型ロビーインターホン〜増設ロビーインターホン	100m以内

注 ●シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
●接続する住宅情報盤の機種により通話線(S, GND)の総長は変わります。
通話線の総長が下記の上限値を越える場合は、上限値ごとに通話切替器(別売)が必要です。
●SHNB／SHNT品番 ：4km以内
●SHNB／SHNT品番(電話接続型)：1.5km以内
●信号線(SG, SG)の総長は2km以内としてください。
信号線が2kmを越える場合は、2kmごとに信号増幅器(別売)が必要です。

小規模Cシステム(制御部一体型ロビーインターホンの場合)

●端子の表示とおりに結線してください。
結線を間違えるとシステムが正常に動作しません。

電気錠制御盤(他社製)　AC100V　共同玄関
増設ロビーインターホン(別売)
非常解錠入力　呼出連動出力　解錠出力
ロビー電源DC24V E1 E2　信号 SG SG　通話A S GND
FCPEV φ0.9-2pr線
AE φ1.2-2C線
φ0.9を使用すると、電源電圧が低下し正常に動作しない場合があります。
ロビー電源(Uオーダー品)(別売)　AC100V
赤　黒　電気錠非常解錠装置(別売)　青　青
NTT
AC100V
自動通報機(別売)
制御部一体型ロビーインターホン
映像出力 LM1 LM2　信号 SG SG　通話A S GND　解錠出力 EK EK　増設ロビー電源出力DC24V E1 E2　COM 火災 ガス 非常 トラブル　非常解錠　AC 100V
解錠入力　電気錠制御盤(他社製)　共同玄関　AC100V
注 端子名は機種により異なります。

注 リード線を接続する場合は、ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
リード線をよじっただけでは、長期間使用中にリード線表面が酸化し接触不良をおこし、誤動作や動作しないなどの原因となります。

24時間タイマー(連続解錠機能)を使用する場合、接続する電気錠制御盤によっては、解錠入力端子とは別の入力端子を使用する機種があります。この場合、付属の設定マニュアルにしたがって「連続解錠時間(設定コード：C08)」および「移報接点出力(設定コード：C20)(7：連続解錠)」を設定し、制御部一体型ロビーインターホンのCOM端子・トラブル端子からの配線を接続してください。

住宅情報盤(別売)へ
FCPEV φ0.9-2pr線
ジョイント
GND S SG SG　住宅情報盤(別売)　AC100V

本社〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048 TEL (06) 6908-1131 (大代表)　松下電工株式会社

8A1 Y86 00004

配　線　方　法

●接続機器についてはその商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊘端子はネジ端子を示します。

●制御部一体型カメラ付ロビーインターホン以外に増設カメラ付ロビーインターホンを2台以上接続される場合（最大3台まで接続可）は、2台目と3台目の増設カメラ付ロビーインターホンには専用の別置電源（別売・Uオーダー品）が必要です。

配線可能距離

配　線　区　間	最遠長
制御部一体型カメラ付ロビーインターホン～映像制御盤	100m以内
映像制御盤～最終端分岐器	100m以内
分岐器～住宅情報盤	50m以内

(注)●シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
●接続する住宅情報盤の機種により通話線(S, GND)の総長は変わります。
通話線の総長が下記の上限値を越える場合は、上限値ごとに通話切替器（別売）が必要です。
●SHWB／SHWT 品番：2km 以内
●SHNB／SHNT 品番　：4km 以内
●SHNB／SHNT 品番（電話接続型）：1.5km 以内
●信号線(SG, SG)の総長は2km以内としてください。
信号線が2kmを越える場合は、2kmごとに信号増幅器（別売）が必要です。

小規模CTシステム（制御部一体型カメラ付ロビーインターホンの場合）

●端子の表示とおりに結線してください。
結線を間違えるとシステムが正常に動作しません。